

# 決算説明資料

2025年3月期 第1四半期



Listed Company 4241

2024年8月  
株式会社アテクト

# 2025年3月期 第1四半期 業績総括

---

# 全社連結業績

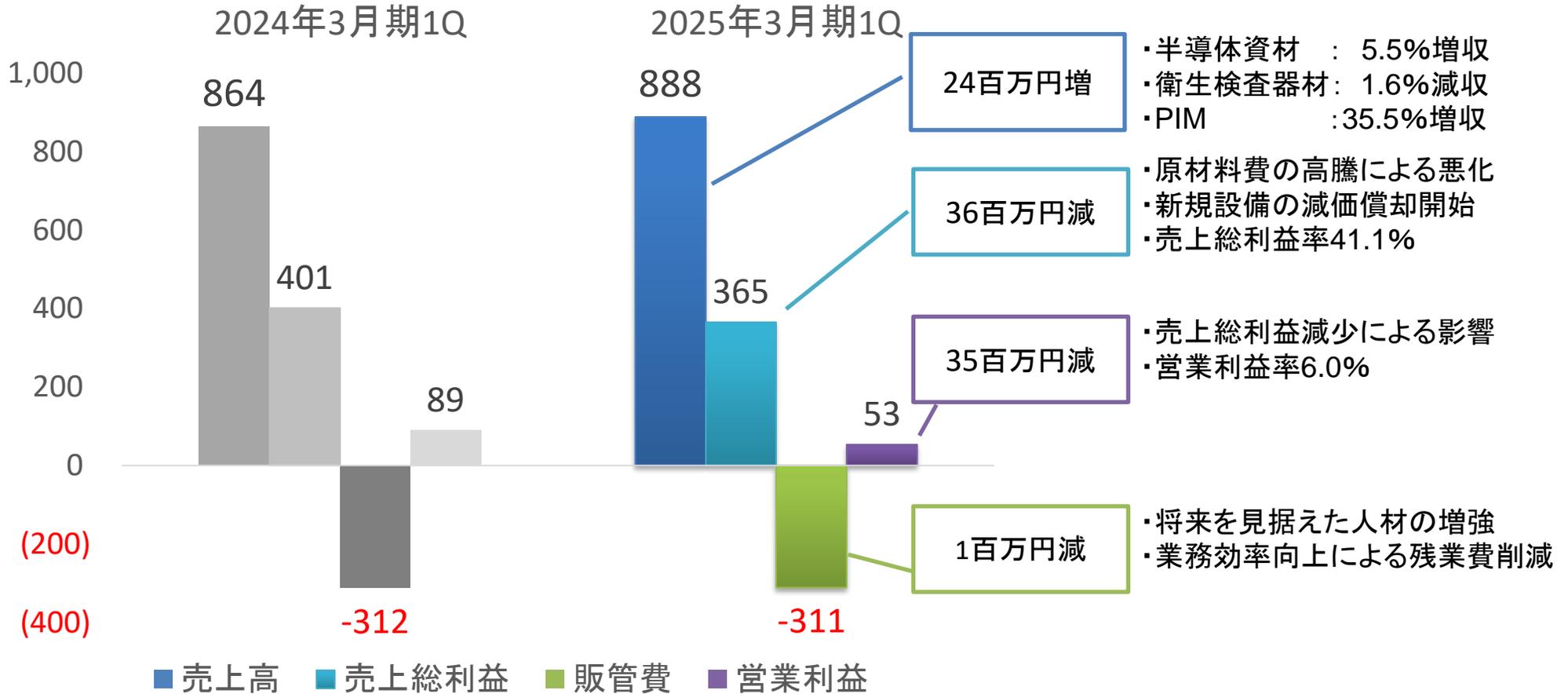
(単位:百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減率
売上高	864	888	2.8%
営業利益	89	53	▲40.1%
	10.3%	6.0%	
経常利益	102	56	▲45.1%
第1四半期 純利益	76	40	▲46.6%

- 半導体資材事業とPIM事業の回復により増収となった
- 世界的な資材価格の高騰、人材補強などの影響により減益となった

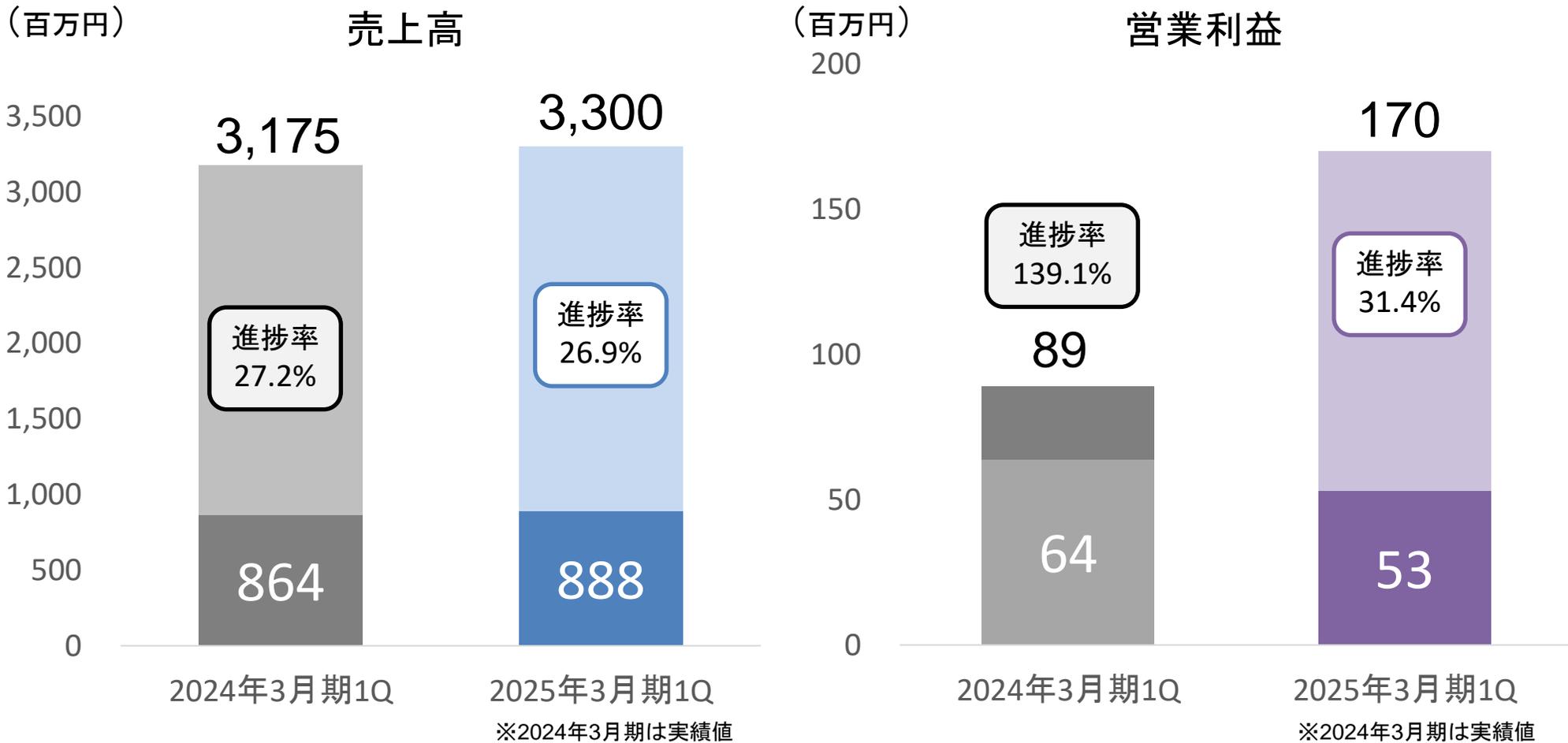
# 2025年3月期1Q収益サマリー

(単位:百万円)



増収となったが、原材料費の高騰や人材補強などの影響により減益

# 今期計画に対する進捗

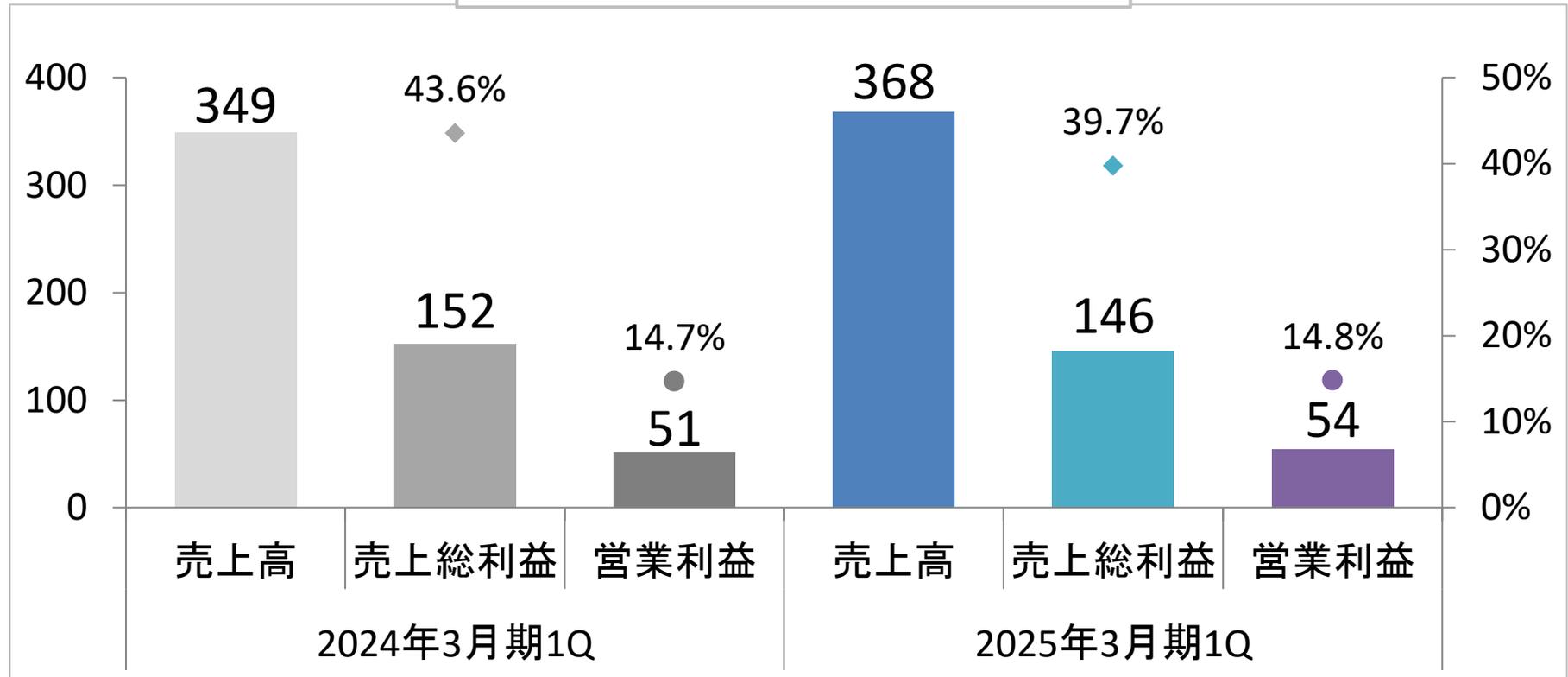


通期業績予想に対してまずまずのスタートとなった

# 1. 半導体資材事業

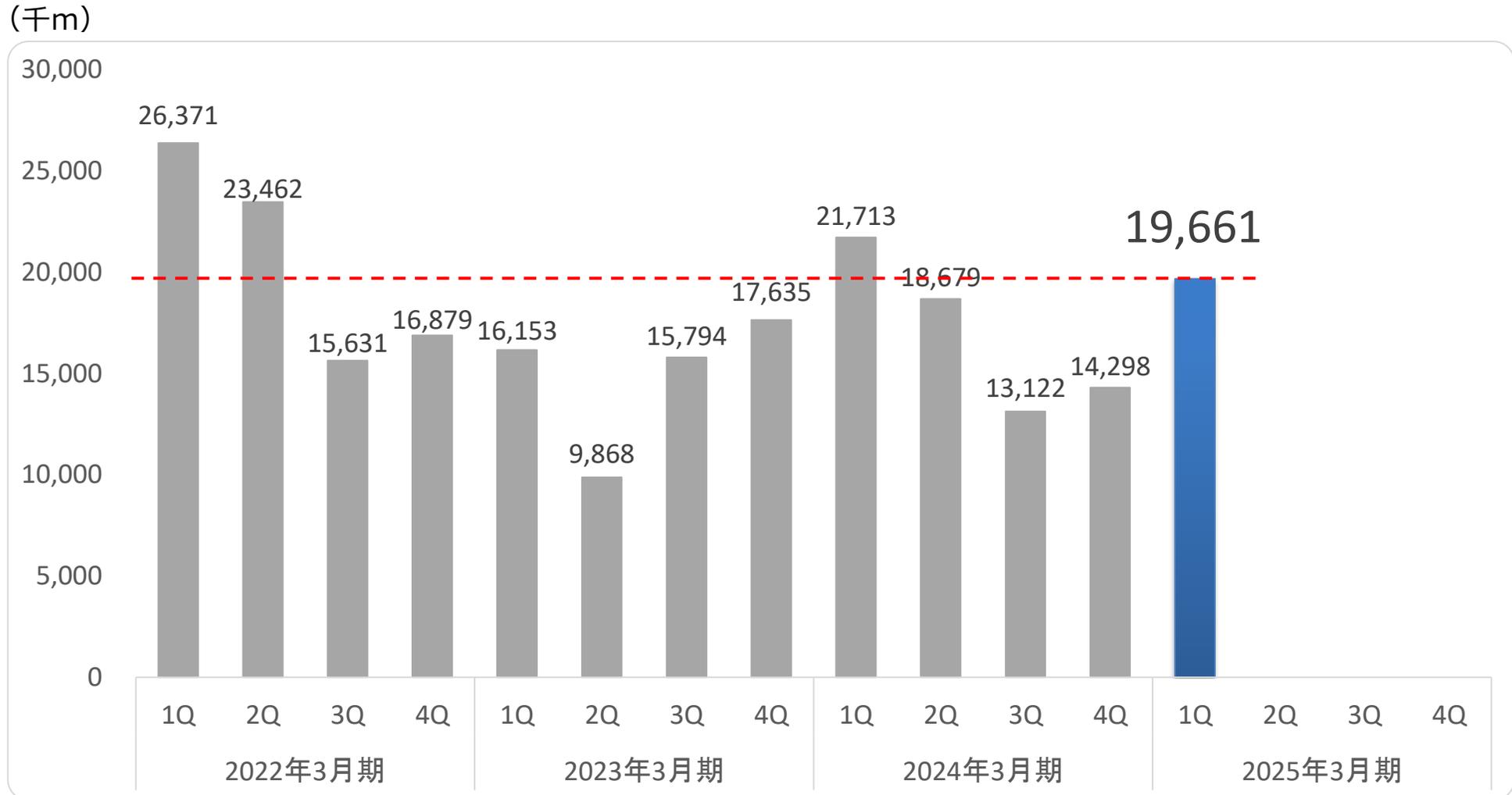
(単位:百万円)

5.5%増収・6.3%増益



- 前年同期比で販売数量は減少したが、売上構成の変化や円安・韓国ウォン／台湾ドル高の影響により増収
- 新規参入が相次ぐ中国市場の受注獲得に注力

# 半導体資材出荷数量推移

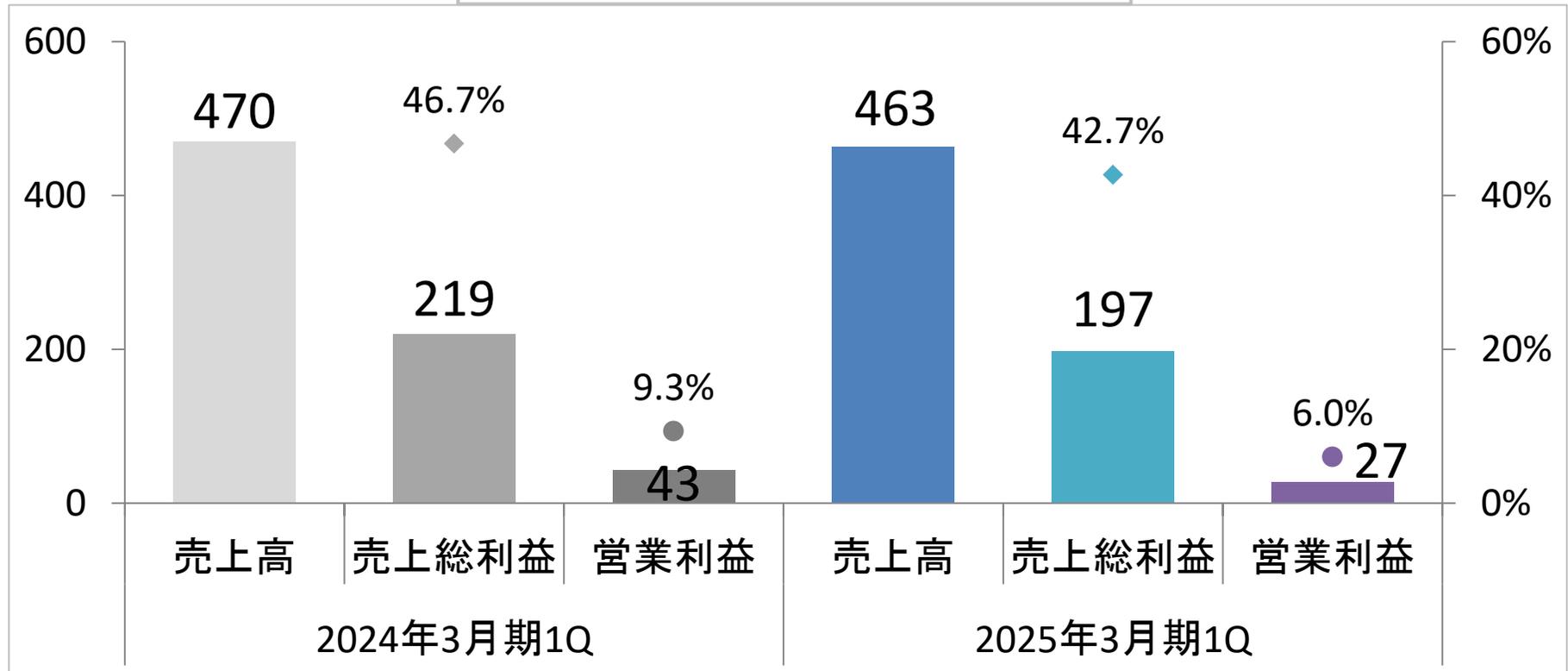


前年同期に比べて減少しているが、水準としては良好な域まで回復

## 2. 衛生検査器材事業

(単位:百万円)

1.6%減収・36.9%減益



- 販売数量は全体的には堅調に推移しましたが、一部大口顧客向けの販売低調により減収
- PS(ポリスチレン)材の価格高騰の影響は継続、製造合理化による原価低減、販売価格の引き上げを継続

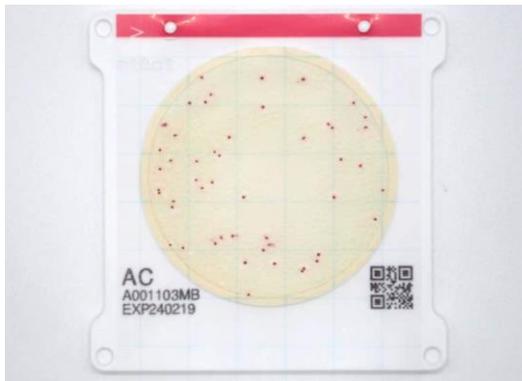
# 簡易型微生物検出用培地『aS-Medium』発売



昨今の食品安全への意識の高まりからより簡便に熟練者でなくても細菌検査の実施が求められている

そのような背景によりatect独自の簡易型培地『aS-Medium』を開発し販売を開始

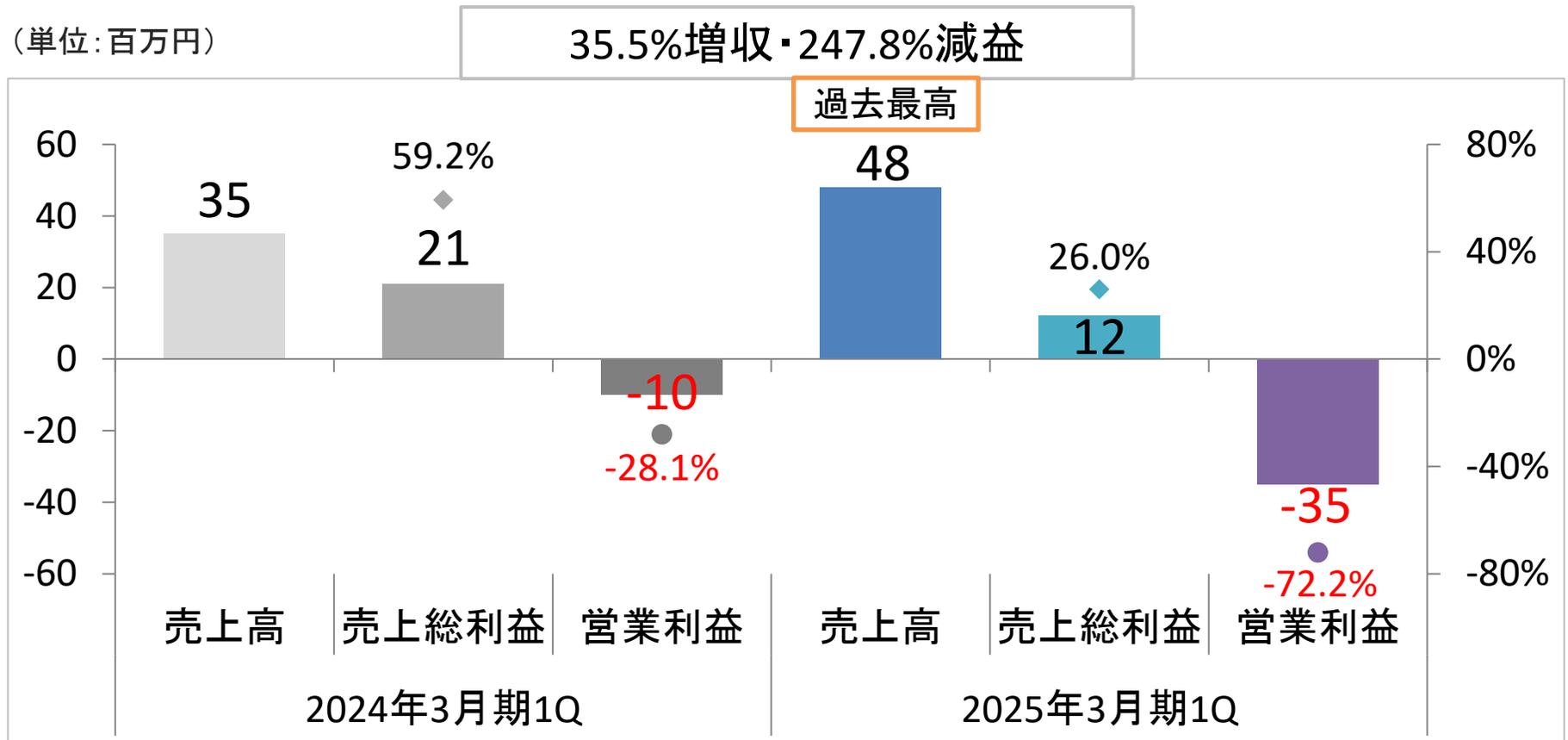
- 認証機関(AOAC)の認証取得済み
- 特許取得済み(特許第7470462号)



自社設計の専用ラインにて製造⇒2024年4月より販売開始！

### 3. PIM事業

(単位:百万円)



- 第1四半期単独では過去最高の売上高だが、研究開発費の増加により減収
- CMOSセンサー用セラミックス部品等の高機能部品や材料販売が回復傾向
- 自動車用ターボ部品は本格量産再開まで最終段階
- 将来の自動車の電動化に向けた窒化アルミ製放熱基板の商品化にも注力

# atect-AIN(窒化アルミ)について

## ■ 他社製AINとの比較→世界一の熱伝導率

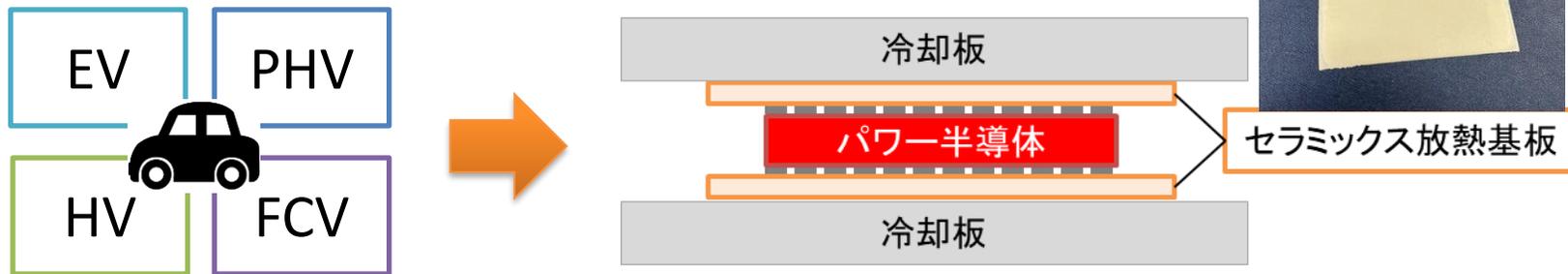
	A社	B社	C社	atect-AIN
熱伝導率 W(m・k)	150～180	180	170～230	257

## ■ 他材料との比較→金属並みの熱伝導率と高い熱放射率

	アルミニウム	銅	atect-AIN
熱伝導率 W(m・k)	236	398	257
放射率	0.04	0.07	0.93

atect製AINは物性と機能面において他社品・他素材よりも優れている

## ■ 自動車の電動化・パワーデバイスの高出力化に対応



2027年の市場参入を目指し、熱放射率など更なる性能の向上を実施中

## 免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

## 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail:ir@atect.co.jp